



## 平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月5日

上場取引所 東

上場会社名 フロイント産業株式会社

コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 高波 裕二

TEL 03-6890-0750

四半期報告書提出予定日 平成28年7月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	3,912	30.3	295	—	314	—	48	—
28年2月期第1四半期	3,002	△14.4	△24	—	△0	—	△29	—

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 △88百万円 (—%) 28年2月期第1四半期 △105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	2.82	—
28年2月期第1四半期	△1.69	—

当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	17,056	11,159	65.4	647.11
28年2月期	17,206	11,529	67.0	668.57

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 11,159百万円 28年2月期 11,529百万円

当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成29年2月期(予想)の年間配当金額は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成29年2月期(予想)の年間配当金額は、1株当たり30円となります。

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	3.9	370	86.0	370	46.7	240	94.1	13.92
通期	20,000	5.1	1,900	41.1	1,900	36.2	1,180	22.8	68.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年2月期1Q	18,400,000 株	28年2月期	18,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年2月期1Q	1,155,444 株	28年2月期	1,155,444 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期1Q	17,244,556 株	28年2月期1Q	17,244,556 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は平成28年3月1日付で普通株式1株につき、2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューの手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. 補足情報 .....	10
受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られる一方で、年初からの円高進行を受けて企業収益の改善に足踏みが見られることや、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクが懸念される等、景気回復ペースは依然として鈍い状況が続きました。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行が進んでいます。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発により、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、売上高39億12百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益2億95百万円（前年同四半期は24百万円の営業損失）、経常利益3億14百万円（前年同四半期は0.4百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円（前年同四半期は29百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、ジェネリック医薬品業界の旺盛な設備投資意欲により、受注は引き続き好調に推移し、売上高・営業利益とも増加となりました。

この結果、売上高は24億13百万円（前年同期比32.2%増）、営業利益は2億20百万円（前年同四半期は9百万円の営業損失）となりました。

#### ・化成部品部門

化成部品部門においては、食品品質保持剤は、競争激化のなか売上高・営業利益とも微減となりましたが、医薬品の経口剤に使用される機能性添加剤は、ジェネリック向けを主体に好調を維持し、また、当社技術を活用した栄養補助食品も堅調に推移しました。

この結果、売上高は14億98百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益は1億78百万円（前年同期比117.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し、170億56百万円となりました。増減の主な要因は、仕掛品が4億11百万円、現金及び預金が2億21百万円、電子記録債権が1億75百万円増加したものの、売掛金及び受取手形が10億37百万円減少したためであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の総負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億19百万円増加し、58億96百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債務が1億10百万円、未払法人税等が49百万円減少したものの、前受金が4億13百万円増加したためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億70百万円減少し、111億59百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成28年4月5日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間において、のれん77,159千円及び負ののれん11,067千円並びに利益剰余金77,678千円が減少しているとともに、資本剰余金8,991千円及び為替換算調整勘定2,594千円が増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益は4,100千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,255千円増加しております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,042,296	4,263,901
受取手形及び売掛金	5,542,999	4,505,723
電子記録債権	151,350	326,849
商品及び製品	330,747	358,503
仕掛品	1,511,095	1,922,590
原材料及び貯蔵品	590,674	687,392
前払費用	114,910	125,050
繰延税金資産	369,466	355,811
その他	424,172	522,518
貸倒引当金	△24,122	△22,536
流動資産合計	13,053,591	13,045,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,153,744	1,098,954
土地	1,318,399	1,316,931
その他(純額)	662,978	693,133
有形固定資産合計	3,135,122	3,109,019
無形固定資産		
のれん	77,159	—
その他	105,600	93,726
無形固定資産合計	182,760	93,726
投資その他の資産		
繰延税金資産	29,420	24,367
その他	811,158	788,489
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	835,179	807,456
固定資産合計	4,153,061	4,010,203
資産合計	17,206,653	17,056,007
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,680,871	1,828,510
電子記録債務	899,494	789,342
未払法人税等	65,043	16,042
前受金	1,288,049	1,701,131
賞与引当金	259,898	314,661
役員賞与引当金	61,000	30,000
資産除去債務	19,199	19,199
その他	1,042,018	871,288
流動負債合計	5,315,576	5,570,175
固定負債		
退職給付に係る負債	194,094	190,101
負ののれん	11,067	—
資産除去債務	4,213	4,230
その他	152,518	132,329
固定負債合計	361,893	326,661
負債合計	5,677,469	5,896,836

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,280,522	1,289,513
利益剰余金	9,515,679	9,271,008
自己株式	△201,313	△201,313
株主資本合計	11,630,488	11,394,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,600	20,082
為替換算調整勘定	△100,775	△238,736
退職給付に係る調整累計額	△17,129	△16,982
その他の包括利益累計額合計	△101,304	△235,637
純資産合計	11,529,183	11,159,171
負債純資産合計	17,206,653	17,056,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	3,002,638	3,912,047
売上原価	1,976,563	2,559,578
売上総利益	1,026,074	1,352,468
販売費及び一般管理費	1,050,574	1,057,458
営業利益又は営業損失(△)	△24,500	295,009
営業外収益		
受取利息	407	460
受取技術料	2,133	2,035
保険解約返戻金	—	18,424
負ののれん償却額	1,948	—
為替差益	12,837	—
その他	7,725	2,523
営業外収益合計	25,052	23,444
営業外費用		
支払利息	999	781
為替差損	—	2,785
その他	20	879
営業外費用合計	1,020	4,447
経常利益又は経常損失(△)	△468	314,006
特別利益		
固定資産売却益	—	7,436
投資有価証券売却益	—	14,936
特別利益合計	—	22,372
特別損失		
固定資産除却損	3,236	0
役員退職慰労金	—	250,000
特別損失合計	3,236	250,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,704	86,378
法人税等	28,549	37,814
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,254	48,564
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,134	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,120	48,564



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,254	48,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,387	3,481
為替換算調整勘定	△85,139	△140,555
退職給付に係る調整額	△233	146
その他の包括利益合計	△72,985	△136,927
四半期包括利益	△105,240	△88,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,477	△88,362
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,762	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,826,072	1,176,565	3,002,638	—	3,002,638
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,826,072	1,176,565	3,002,638	—	3,002,638
セグメント利益又は損失(△)	△9,377	81,899	72,521	△97,022	△24,500

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△97,022千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	中南米	欧州	その他	計
2,364,438	194,486	112,640	235,098	95,973	3,002,638

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,413,319	1,498,727	3,912,047	-	3,912,047
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,413,319	1,498,727	3,912,047	-	3,912,047
セグメント利益	220,394	178,125	398,519	△103,510	295,009

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△103,510千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械」セグメントにおいて、「企業結合に関する会計基準」等を過去の期間のすべてに遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を、資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。当該事象により、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが77,159千円減少しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	中南米	欧州	その他	計
3,285,570	378,849	58,706	93,023	95,896	3,912,047

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

5. 補足情報

●受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	3,833,281	105.1	3,689,717	96.3
化成品部門	508,778	87.9	611,637	120.2
合計	4,342,060	102.7	4,301,355	99.1

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	8,900,504	128.1	8,318,954	93.5
化成品部門	391,409	100.3	409,484	104.6
合計	9,291,913	126.7	8,728,439	93.9

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	1,826,072	60.8	2,413,319	61.7
化成品部門	1,176,565	39.2	1,498,727	38.3
合計	3,002,638	100.0	3,912,047	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。